校種：中学校社会科公民的分野　　対象学年：３年　　人権課題：部落差別

部落差別について考えてみよう

**１　教材について**

　　これまで部落史・部落問題学習の指導資料について、大正時代の全国水平社の学習で終わっている実態があった。また、現代の部落差別を取り扱う際にも、結婚差別など厳しい差別の現実は取り上げられるが、部落差別解消に向けた多くの人々の取組が取り上げられる事例はあまり見られなかった。

　　現代の部落差別を学習するということは、現代の（特に戦後の）部落差別解消に向けた多くの人の取組を理解することが不可欠であり、その取組の成果の上に今の社会、自分たちの生活があるということを理解することが重要である。公民的分野の学習は、今の社会をどう捉え、その社会で自分がどう生きていくかを考えることをめざしている。

　　しかし、実際にはそのような教材・指導案は県内で開発されていないという現実があった。そこで、今回は現代の部落差別を１単位時間の学習で生徒たちと学ぶというコンセプトで本指導案を作成した。

**２　実践のポイント**

　〇導入において、部落差別は「住んでいる場所や出身地で人を判断する不合理な差別」であることを感じ取らせる。

　○人々の差別意識がどのようにして生まれるのか、どのようにして部落差別が形づくられていったのかを歴史に深入りすることなく理解できるようにしている。

　○部落差別解消をめざす取組は、厳しい差別の実態を解決するために１つ１つ取り組まれてきたものである。そのことを、ヒントを手がかりに生徒たちに考えさせたい。また、そのような取組が、わたしたちが今、生活上あたりまえだと思っていることにつながっている、つまり、差別をなくす取組はすべての人の幸せにつながっているということを感じ取らせたい。

　○本授業を通じ、「差別とは何か」「差別の本質とは何か」「差別はどうすればなくすことができるのか」ということについて、生徒たちがシンプルに理解できるよう工夫している。普遍的な知識・判断材料・展望として、生徒たちにしっかりと伝えていきたい。

**３　教科等における活用例**

**〇　社会科公民的分野**

　　　社会科公民的分野の基本的人権の学習において、部落差別やアイヌの人々への差別などが取り上げられている。部落差別と同様に、その他の人権課題についても、１時間で学ぶことができる資料の作成が必要である。

**〇　総合的な学習の時間・道徳**

本学習内容は、単元の目標設定を工夫すれば、総合的な学習の時間や道徳の学習としても活用できると考えている。

**４　実践を通して育みたい資質・能力**

|  |  |
| --- | --- |
| 知識的側面 | ・まちがった差別意識が生み出した部落差別の厳しい現実と、差別解消をめざして人々が取り組んだことを理解する。 |
| 価値的・  態度的側面 | ・差別は、する側のまちがった意識が生み出していることを理解するとともに、意識を変えれば差別をなくすことができるという展望をもつことができる。 |
| 技能的側面 | ・部落差別の解消のために人々が取り組んだことについて、個人で考えたり、グループで考えを伝え合ったりすることができる。 |

部落差別について考えてみよう

**５　実践する教科等**

　　中学校　第３学年　社会科公民的分野

**６　本時の目標**

|  |
| --- |
| **部落差別の解消に向けたこれまでの人々の努力と成果、「差別の本質」や「差別のなくし方」を考えることで、自分にできることを見つけたり、差別解消のための展望を感じ取ったりすることができる。** |

**７　展開例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動と主な発問（☆） | 予想される子どもの反応 | 教師の支援・指導 |
| つかむ | **１　本時の学習のテーマをつかむ。**  　☆「あなたは佐賀県民だから信用できない。」と言われたら、どう返しますか。  部落差別について考えてみよう | ・言っている意味が分からない。  ・佐賀県民が何か悪いことをしたの？  ・住んでいる場所だけで、自分の何がわかるの？ | ○この問いから、住んでいる場所や出身地で人をいじめたり、バカにしたり、仲間はずしにすることが「部落差別」であることを確認し、本時の学習のテーマを提示する。 |
| **２　部落差別がどのようにして生まれたのかを知る。**  ☆部落差別はどのようにして生まれたのかをみてみましょう。 | 差別する理由  ・見た目　　・性  ・文化、宗教、民族  ・病気　・身分、職業  ・出身地、居住地 | ○人は、間違った意識がさべつを生み出してきたことを図を使って説明する。この中で、身分による差別が、出身地による差別に変化したのが「部落差別」であることを押さえる。 |
| 考え  る | **３　部落差別をなくすために、どのようなことに取り組まれたのかを考える。**  ☆差別意識が、どのような実態を生み出したのかをみてみましょう。 | ・就職差別  ・結婚差別  ・経済的に厳しい生活  ・教育を奪う | ○差別意識が、世代を越えた差別の悪循環を生み出したことを知らせる。 |
| 考え  る | ☆部落差別をなくすために、どのようなたたかい（取組）が進められたのか、考えてみましょう  ◇個人で考える（５分）  ◇グループで話し合い、まとめる（10分）  ◇全体で意見を交流する（10分）  ☆では、実際にどのようなことに取り組まれたのかをみてみましょう。 |  | ○「①就職差別をなくすための取組」「②厳しい生活を改善する取組」「③結婚差別をなくすための取組」「④まちがった意識を変えるための取組」の視点で、ヒントが書かれたワークシートを元に考える。  ○しっかりと考えようとする姿勢をほめる。  ○教師が解説を入れながら、答えを紹介していく。差別を受けた人々や差別をなくそうとした人々の取組のおかげで、今のわたしたちの社会や生活があることを押さえる。 |
| まとめる | **４　今の社会をふりかえり、これから差別のない世の中をつくっていくために、自分にできることを考える。**  ☆「差別の本質」と「差別のなくし方」について考えてみましょう。 | 【差別の本質】  ①差別は、（差別する人）がいるから起こる。  ②差別は、する人もされる人も誰も幸せに（しない）。  ③差別をなくそうとすれば、（みんなの幸せ）につながる。  【差別のなくし方】  差別をなくす  　　　↑  （差別する人）を  減らす、なくす。  　　　↑  （ルール）をつくる。  （学び）を保障する。  　　　↑  すべての人の（人権）が守られる。 | ○ワークシートに、（　）を埋めて考える図を入れておき、生徒と話し合いながら、言葉を入れていく。  ○差別する側も、法的な罰や社会的ペナルティを受けることから幸せにはならない。  ○「差別をなくす」ためには、「差別する人を減らす・なくす」ことが必要。そのためには、「ルールをつくったり、学習したりすること」が必要。そうすることで「すべての人の人権（幸せ・安心・安全）が守られる。新しい問題が発生すれば、またルールや学びをつくっていけばいい。こうすることで、社会（世界）は差別をなくそうとしてきている。 |
| ふり返る | ☆今日の学習をふりかえってみましょう。  　☆差別をなくすために、これから自分が取り組んでいきたいことを考えて、書きましょう。 |  | ○いつの時代も、不合理な差別を受けてきた人々が社会を変えてきたことを確認する。  ・中世「河原者」…日本を代表する文化を創造した。  ・近世「身分差別を受けた人々」…渋染一揆など差別に対するたたかいを始めた。  ・現代「部落差別を受けた人々」…差別をなくし、世の中をよりよいものに変えてきた。  ○また、多くの人々が自分たちの意識の誤りに気づき、法律などの社会のルールをつくってきた。  ○みなさんもこれから差別のない社会をつくっていく重要な一人。  ○自分にできることが思いつかない生徒には、今日の学習の感想でもよいことを伝える。 |

社会科公民ワークシート 　　　 ３年（　　）組　名前（　　　　　　　　　　　　　　　）

**部落差別について考えてみよう**

**1　部落差別をなくすために、どのようなたたかい（取組）が進められたのでしょうか。**

**考えてみましょう。**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 就職差別をなくすために】   ◇（　　　　　　　　　　　　）に家族のことを  書かなくていいようにした。  ◇（　　　　　　　　　）で自分の適性・能力以外の  ことを質問させないようにした。 | 1. 厳しい生活を改善するために】   ◇（　　　　　　　　　　　　　）をタダにした。  ◇0才から（　　　　　　　　　　　）にあずけられる  ようにした。  ◇奪われた（　　　　　　　）を取り戻そうとした。 |
| 1. 結婚差別をなくすために】   ◇（　　　　　　　　　　　　　　　　　）の条文を変えた。  ◇勝手に（　　　　　　　　　）の情報を  とられないような制度をつくった。 | 1. まちがった意識を変えるために】   ◇部落差別をなくすための（　　　　　　　　）を  つくった。  ◇悪質な差別に対し、  （　　　　　　　　　）を起こした。 |

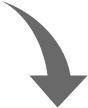
**２　「差別の本質」「差別のなくし方」**

**★差別の本質**

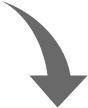
①差別は、（　　　　　　　）がいるから起こる。

②差別は、する人もされる人も誰も幸せに（　　　　　　　）。

③差別をなくそうとすれば、（　　　　　　　　　　）につながる。

**★差別のなくし方**

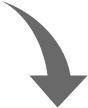
差別をなくす

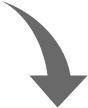


（　　　　　　）を

減らす。なくす。

すべての人の（　　　）が守られる。





（　　　　）をつくる。

（　　　）を保障する。

**３　あなたも、これから部落差別のない社会をつくっていく一人です。今日の学習をふり返って、これ**

**から自分にできそうなことを考えて書いてみましょう。（今日の学習の感想でもいいです。）**